

科目名・授業形態	【オンライン】ジェンダー ダイバーシティ入門
開講日程	10/12,10/26,11/30,1/11 2講時目
担当者	代表:竹安 栄子

副題	ジェンダー視点からみた日本の現状		
授業の到達目標	ジェンダーに関する基本的知識の修得とジェンダー視点からみた日本の現状を学ぶことにより、自らが就労することが、個人の自己実現に留まらず市民としての役割遂行という社会的意義をもつことを認識する。		
授業の概要	ジェンダー概念の整理、ジェンダー平等の実現が社会の持続的発展に持つ意義の確認、世界との比較の視点からみた日本社会のジェンダー格差の現状などの総論に続いて、ジェンダー視点からの様々な情報収集の方法、地域社会におけるジェンダー平等の意義、政治領域における女性の政治参画の現状の各論を学ぶ。		
授業の計画	第1回【10/12(土)】 京都女子大学	女性のためのリカレント教育の意義	
	第2回【10/26(土)】 国立女性会館	ジェンダー視点と国立女性会館の取組	
	第3回【11/30(土)】 宮城学院女子大学	地域女性とリーダーシップ	
	第4回【1/11(土)】 市川房枝記念会 女性と政治センター	女性と政治参画	
評価方法	評価項目	配分(%)	評価の観点
	授業参加・課題提出	100%	授業参加と各講師からの課題提出
履修生へのメッセージ	日本は2024年のジェンダーギャップ指数が118位(164ヶ国中)と世界最低レベルです。日本で暮らしていると当たり前と思っている男女の役割格差も、世界の多くの国では解消されつつあります。何よりの問題は、人口爆縮時代に突入する日本にとって労働分野の男女格差の解消が喫緊の課題である、という認識が社会で共有されていないことです。本学リカレント教育課程で学んだ成果を生かして社会に貢献されることが、日本の未来を救うことにつながるという確信と自信を持っていただけるものと期待しています。		
教科書	指定せず(各講師資料)		
参考書	指定せず		